

日本放送協会 理事会議事録

(平成27年10月 6日開催分)

平成27年10月23日(金)公表

<会議の名称>

理事会

<会議日時>

平成27年10月 6日(火) 午前9時00分～9時30分

<出席者>

梶井会長、堂元副会長、塚田専務理事、吉国専務理事、板野専務理事、
福井専務理事、森永理事、井上理事、浜田技師長、今井理事、
坂本理事、安齋理事
上田監査委員

<場所>

放送センター 役員会議室

<議事>

梶井会長が開会を宣言し、議事に入った。

付議事項

1 審議事項

- (1) 第1246回経営委員会付議事項について
- (2) 新佐賀放送会館の整備方針・概要について
- (3) 新大津放送会館の整備方針・概要について

2 報告事項

- (1) 考査報告

(2) 放送番組審議会議事録 (資料)

議事経過

1 審議事項

(1) 第1246回経営委員会付議事項について

(経営企画局)

10月13日に開催される第1246回経営委員会に付議する事項について、審議をお願いします。

付議事項は、報告事項として「新佐賀放送会館の整備方針・概要について」と「新大津放送会館の整備方針・概要について」です。

(会 長) 原案どおり決定します。

(2) 新佐賀放送会館の整備方針・概要について

(経理局)

新佐賀放送会館については、平成27年3月3日の理事会、および3月10日の第1232回経営委員会での決定を受けて、佐賀市松原の用地を取得し、建設に向けての検討を重ねてきました。このたび、整備方針・概要がまとまりましたので、審議をお願いします。

新放送会館の整備にあたっては、「市民の交流拠点」、「災害に強い放送局」、「風通しのよい“オール・ワンフロア”職場」、および「周辺景観と調和する環境にやさしい会館」の4点を基本コンセプトとします。

新放送会館は、敷地面積が3,715.05㎡、延床面積は5,120㎡で、階数は地上3階程度を想定しています。建設費は、建物に28億円程度、放送設備に21億円程度を見込んでいます。用地は、約4.8億円で27年3月に取得しており、建設方式は単独建設です。移転用地は、佐賀市の市街地に位置し、県庁や県警本部、地方裁判所などの主要施設が500m圏内にあり、佐賀駅からも1.6km程度の利便性が優れた商業地域にあります。

新放送会館の主な機能としては、建物は免震構造を採用し、浸水被害を回避するため、電源設備等は上階に設置するほか、2系統受電、自家発用オイルタンク、車両用燃料備蓄設備を整備します。局長室や放送管

理事務室などの管理機能についても、放送設備・放送センター機能とともに2階に一元的に配置します。100㎡のニューススタジオを放送センターに隣接して配置し、定時ニュースやスポット番組の円滑な制作に対応します。150㎡の汎用スタジオは、1階に2層吹き抜けで配置し、情報番組や公開番組、選挙開票速報などに利用するほか、視聴者のスタジオ見学にも対応します。ハートプラザは、汎用スタジオに隣接して1階に配置し、8K対応の大型ディスプレイやイベント・展示スペースなどを設置し、市民の交流拠点と位置付け、NHKへの親しみを感じてもらえる場として活用します。また、鉄塔は、放送会館と各放送所をつなぐ無線回線などの構築をするため、地上70m程度の高さとし、さらに、70cm未満の浸水が想定されるため、1階のフロアレベルを調整して、水害時にも大きな影響を受けないように設計することや、太陽光発電など自然エネルギーの活用や電力消費の少ないシステムを導入して、環境にやさしい会館を目指します。

今後のスケジュールについては、27年度に設計者を選定後、基本設計に着手します。28年度に実施設計を経て、29年度に着工し、30年度に建物が、31年度に放送設備が完成し、運用を開始する予定です。

本件が決定されれば、10月13日開催の第1246回経営委員会に報告します。

(会長) 原案どおり決定します。

(3) 新大津放送会館の整備方針・概要について

(経理局)

新大津放送会館については、平成25年9月10日の理事会、および同日の第1196回経営委員会での決定を受けて、大津市京町の用地取得に関する契約を締結し、建設に向けての検討を重ねてきました。このたび、整備方針・概要がまとまりましたので、審議をお願いします。

新放送会館の整備にあたっては、「災害に強い放送局」、「地域に開かれた放送局」、「環境にやさしい放送局」、および「機能的・効率的な放送局」の4点を基本コンセプトとします。

新放送会館は、敷地面積が4,231.91㎡、延床面積は4,410㎡で、階数は地上3階程度を想定しています。建設費は、建物に24億円

程度、放送設備に13億円程度を見込んでいます。用地は、約11億円で27年度内に取得予定で、建設方式は単独建設です。移転用地は、滋賀県庁の北側に位置し、国の出先機関も集中している地区で、大津駅まで徒歩7分程度の良い環境です。

建物は免震構造を採用し、浸水被害を回避するため、電源設備等は上階に設置するほか、2系統受電、自家発用オイルタンク、車両用燃料備蓄設備を整備します。放送センター機能と管理機能は同一フロアに配置します。ニュース情報番組などを制作する125㎡のニューススタジオに汎用スペースを隣接して配置することで、フロアの共用を可能にし、選挙開票速報や特別番組等にも活用します。ハートプラザは1階に配置し、8K対応の大型ディスプレイやギャラリースペースなどを設置するほか、公開生放送が可能な100㎡のオープンスタジオスペースを隣接して設置します。鉄塔は、放送会館と各放送所をつなぐ無線回線などを構築するため、地上70m程度の高さとしします。また、南側から北側に向けて地盤面が下がり、3m超の高低差がある地形に対応した設計を行います。さらに、自然エネルギーの活用や消費電力の少ないシステムを導入するなど、環境にやさしい放送局を目指します。

今後のスケジュールについては、27年度に設計者選定に着手、28年度に基本設計と実施設計に着手します。29年度に着工し、30年度に建物が、31年度に放送設備が完成し、運用を開始する予定です。

本件が決定されれば、10月13日開催の第1246回経営委員会に報告します。

(会 長) これから具体的な設計に着手するということですが、今回の整備方針・概要から変わることもあるのですか。

(福井専務理事) はい。今後、各放送局の地元で、外部の有識者を含めた設計者選定委員会を立ち上げ、プロポーザルによる設計者選定を行っていきます。そのため、面積はほぼ確定していますが、設計次第では若干の変更もあり得ます。

(会 長) 原案どおり決定します。

2 報告事項

(1) 考査報告

平成27年8月24日から9月28日までの間に放送した、ニュースと番組について考査した内容を報告します。

この期間に、国内放送番組では、ニュース20項目、番組71本の考査を実施しました。

ニュースの主な項目としては、集団的自衛権の行使などを盛り込んだ安保関連法案が参議院で可決されて成立したこと、記録的な豪雨で栃木、茨城、宮城の3県に大雨特別警報が出され、茨城県常総市で鬼怒川の堤防が決壊するなど大きな被害が出たこと、2020年東京オリンピック・パラリンピック組織委員会が、エンブレムの使用を中止して白紙撤回することを決めたことなどがありました。

番組では、巨大災害に対する避難行動を科学的に分析した、NHKスペシャル「巨大災害 MEGA DISASTER II 日本に迫る脅威(全4回)」の第2集「大避難 命をつなぐシナリオ」(9月6日放送)、近代日本の経済人シリーズ第2弾として、阪急電鉄や宝塚歌劇団を創業した小林一三の生涯を描いた、放送90年ドラマ 経世済民の男「小林一三」(前編9月5日、後編9月12日放送)、第2次世界大戦中に20万人以上の障害者が虐殺されたドイツを訪ね、その史実から現代市民は何を学ぶべきかを伝えた、ハートネットTV シリーズ戦後70年 障害者と戦争「ナチスから迫害された障害者たち」(Eテレ 8月25日、26日放送)などの番組を考査しました。

また、国際放送では、外国人向けテレビ国際放送「NHKワールドTV」のニュース4項目と番組3本の考査を実施しました。考査したのは、安保関連法案が参議院で可決・成立するまでの国会の動きや、連日の反対集会、成立後の米中など各国の反応を紹介した「NEWSLINE」(日本時間9月19日放送など)や、日本の伝統技法や現代の企業・デザイナーの活動を通じて、「物の再生」という視点から日本人の感性を考える「DESIGN TALKS PLUS Regeneration」(日本時間9月3日放送)などです。

考査の結果、これらの一連のニュース・番組は、放送法、国内番組基準、国際番組基準等に照らし、妥当であったと判断します。

(2) 放送番組審議会議事録(資料)

編成局と国際放送局から、中央放送番組審議会、国際放送番組審議会、全国の地方放送番組審議会（関東甲信越、近畿、中部、中国、九州沖縄、東北、北海道、四国）の平成27年7月開催分の議事録についての報告。

注：放送番組審議会の内容は、NHKのホームページ「NHKオンライン」の「経営情報」のなかに掲載しています。

以上で付議事項を終了した。

上記のとおり確認した。

平成27年10月20日

会 長 粂 井 勝 人